



ニュースレター

2022年12月29日配信

美しいガリラヤからシャローム！考えてみれば、このニュースレターにそんな言葉を打ち込めるのも、2月までは、これが最後です。来週、私はアジアに向けて出発して、その後アメリカを訪れます。1月は移動が多く、未知のことが満載の非常に忙しい月になります。それぞれの場所に関して、特定の事柄をお祈りいただければと思います。

私たちの希望は、シンガポールでツアーを開始することです。私の講演許可の申請が通るように、神の恵みを祈ってください。イベントスケジュール及び、その詳細の発表をお待ちください。（残念ながらシンガポールはキャンセルになりました。）

来週末はベトナムのホーチミン市で、土曜日には、牧師と指導者に教える特別な機会があります。それから、1月8日の日曜日は、New Life Fellowshipで講演します。ここでも、私が聖書教師として入国する為には、政府に対する神のご介入が必要です。この時のために主が扉を開いてくださるよう、お祈りください。

ベトナムの後の2週間は、親愛なる友であるバリー・スタグナー牧師と一緒にフィリピンに移動して、タルラック、マニラ、サンタローザ、セブ、タリサイ、ダバオ市で講演します。ご覧のとおり、非常に多忙な2週間になります。マニラでの1月13-14日と、ダバオでの1月21日は、新しいRevealing Revelationカンファレンスの初日となるため、特にお祈りください。[Revealing Revelation – Manila](#)に登録していない方は、まだ登録する時間があります。聖書の最後の書全体をカバーするこれらの新し

いカンファレンスの準備に、数え切れないほどの時間を費やして来ました。神が何をされるのか、楽しみです。

旅の最終行程はカリフォルニアです。バリー・スタグナー牧師とマイク・ゴーレイ牧師と共に、カルバリー・チャペル・イースト・アナハイムで 1 月 28 日に開催されるカンファレンスのためにお祈りください。まだ Proximity に登録していない方は、[こちらから登録できます](#)。その後、ツアー翌日の 1 月 29 日日曜の朝はカルバリー チャペル イースト アナハイムで、日曜の夜は、カルバリー チャペル タスティンでの講演です。

スピーキング ツアー全体の概要などについては、[イベント ページをご覧ください](#)。

神は多くの扉を開いてくださいました。私が留守の間、イスラエルにいる私の家族のためにも、忘れずお祈りください。また、私の健康が守られ、腰痛が出ないようにも神にお祈りください。主は良い方です。偉大なことをなさるでしょう！

イザヤ書 40:29-31

疲れた者には力を与え、精力のない者には活気をつける。

若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。

走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ。

【中東】

月曜日にライブ配信した [2022 年 12 月 26 日 ニュース速報（日本語字幕）](#) を見逃した方は、以下に列挙されている多くの話を伝えているので、ぜひご視聴されることをお勧めします。それから、先ほどは、[ベンジャミン・ネタニヤフ政権の発足を中心としたニュース速報（日本語字幕）](#) を配信しました。これは、誰もが注目するに値する驚くべき出来事です。また、まだの方は、[Telegram チャンネル](#) にご登録ください。1 日を通してグローバル ニュースの最新情報が入手できます。

イスラエル政府、木曜発足

ベンジャミン・ネタニヤフが今日、再びイスラエル国の首相に就任。ついに、以前の「変化の政府」の大失敗が、歴史のゴミ箱に追いやられる可能性があり、イスラエルのこの第 37 政府は、これまでで最も保守的な政府となる。小さいながらも声が大きく、メディアが支援する LGBTQ 運動は、全国で抗議を準備している。ネタニヤフは、前政権が残した過ちの多くを正すために多くの仕事することになり、感謝なことに彼は、強力な経済を手に入れるだろう。[エコノミストは](#)、イスラエルを、世界で最高の経済のリスト第 4 位にランク付けた。ネタニヤフには、確かに、対処すべき問題が、社会的および国内的にあるが、彼が取り組まなければならない最大の懸念は、イランが核保有国になるのを阻止することで、ネタニヤフはすでに「私たちの主な目標は、イランの核兵器を阻止することです。」と述べている。

ウクライナの無人機がロシア空軍基地を攻撃

今月 2 回目となるウクライナの無人機が、月曜日にロシア国内 600 km の[エンゲルス空軍基地を攻撃](#)。管制センターが標的となり、この攻撃で 3 人のロシア軍人が死亡した。興味深いことに、ニューヨーク・タイムズは、ウクライナは米国の支援により、イランの無人偵察機が置かれ発射された場所を攻撃したと報じた。これは、米国がロシアの重要な空軍基地への攻撃を支援した、ということなのだろうか？

プーチン大統領、「戦争」を終わらせたいと主張

記者団へのコメントで、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、ウクライナとの戦いを終わらせたいという願望をほのめかし、次のように述べた。[「我々のゴールは、軍事対立を加速することではなく、逆に、この戦争を終わらせる事だ。」](#) 世界中の専門家の注目を集めたのは、主要侵略者が平和の目標を主張する皮肉ではなく、プーチン大統領が、紛争を「特別な軍事作戦」ではなく、初めて「戦争」と呼んだことだった。批評家はすぐに、この言葉を使用したことに対して、これまでに起訴された他の人と同様に彼も起訴されるべきだと主張して襲いかかったが、クレムリンは、「透明で湿

った液体」の代わりに「水」、「4本足で舐めるイヌ科の生き物」の代わりに「犬」という言葉を誤って発したのと同じで、単に口を滑らせたただけだ、とすぐに反論。

ロシア、オリーブ山にある3つの教会の所有権を要求

ロシアのセルゲイ・ステパーシン元首相が、クレムリンに代わって、オリーブ山にある3つの教会の所有権の要求を[イスラエルの裁判所](#)に提出した。ロシアは、マグダラのマリア教会、昇天教会、ヴィリ・ガリラエイ教会はロシアに属していると主張しており、プーチン大統領はまた、エルサレム旧市街にあるアレクサンドル・ネフスキー教会の管理も要求している。ステパーシンは、イスラエルがプロセスを不必要に遅らせたと非難し、「我々は、我々の主張のために、5年間すべての歴史的文書入手しようと働いてきたが、ウクライナで起こったことの為に、イスラエルは問題を避けており、ロシアは資産の支配権を握る為に、エルサレムに圧力をかける。」と述べた。

セルビア、コソボ国境で軍を増強

コソボのセルビア人保護に懸念を表明して、[セルビアのアレクサンダー・ヴチッチ大統領は、内務大臣](#)に、国家治安部隊を「完全な戦闘準備状態」にするよう命じた。セルビアは、2008年にセルビアから離脱した共和国の独立を認めたことはなく、最近、国境に沿って軍隊と武器を増強。ロシアとウクライナの紛争が始まって以来、コソボではセルビア人とコソボ人との間で緊張が高まっている。NATOはコソボ政府を支持してきたが、プーチンはウチッチを支持しており、混乱をさらに悪化させている。

パリでの銃撃が暴動につながる

パリの移民キャンプで、サーベルを使用して攻撃した事件の裁判を待っている間に、最近解放されていた69歳の男が、[パリのクルド人コミュニティのメンバーを標的](#)にして3人を殺害、4人を負傷させた。これにより、クルド人による暴動が、パリやその他のフランス都市で3日間発生し、憲兵隊が、人種に基づく攻撃からクルド人を十分に保護していないと主張した。

北朝鮮の無人偵察機が韓国の領空を侵害

北朝鮮が月曜、[無人機 5 機を韓国の領空に送り込んだ](#)とき、韓国軍は軍用機と攻撃ヘリコプターをスクランブル発進させ、侵犯した無人偵察機に対峙した。しかし残念ながら、唯一墜落した航空機は、韓国の KA-1 軽飛行機で、ドローンの一機がソウルまで到達したにもかかわらず、UAV は一機も撃墜されなかった。火曜日、韓国軍は、その巨大な失敗について国に謝罪し、次回は改善することを約束した。

イラン、ウクライナを工業化以前の時代に引き戻すと脅迫

イランとウクライナの間言葉の戦争は過熱している。ウクライナでイラン製の無人偵察機の破片が発見されているにもかかわらず、テヘランは依然として、それらをロシアに供給したことを否定している。[外務省のスポークスマンであるナセル・カナニ](#)は、ウクライナ大統領を脅迫するにまで至り、「ゼレンスキーは、そのような根拠のない告発に対するイランの戦略的忍耐が無限に続かないことを知っておくべきだ。」と述べ、その後、ゼレンスキー大統領の顧問であるミハイル・ポドリャクがイランの防衛企業の破滅を呼びかけた後、[イラン人ジャーナリストのレザ・アッバシ](#)は、「イラン国民の安全を脅かす、わずかな行動でも、キエフを産業革命前の時代に戻すことになる。これは脅迫ではなく、警告だ。」と述べた。

イランの核兵器とサイバーテロの戦略

イスラエル国防省の元政治軍事局長であり、モサドの元諜報局長であるゾーハル・パルティは、[「イランは、数日から数週間で軍事レベルの 90%の濃縮ウランに到達する。」](#)と警告。彼は、「これは、彼らがすぐに核兵器を製造できるという意味ではない。…しかし、それは非常に悪いことであり、かつて、これほど近づいたことはない。」と述べた。イランのそれを発射する技術の欠如は、ロシアとの軍事協力が拡大しているため、ロシアから後押しされている可能性がある。ロシアはイランから無人機とその製造技術を取得し、イランはロシアから核ミサイル技術を取得している。一方、モサドのトップであるデービッド・バーネアは、イランの核への野望を阻止するための交渉を継続しようとする西側諸国を激しく非難し、イランは協議していると言いながらも、彼らの真意はその核開発の継続に見ることが出来、彼らの二重性は、イスラエルが日常的に対処しているサイバー攻撃を含む、[イスラエルに対する継続的なテロ攻撃](#)にも見られる、と述べた。

崩壊する中東経済

中東の多くの国の経済は、目を見張る形で破綻している。イラク、トルコ、イラン、レバノン、シリア、エジプトの通貨はすべて急落。2023年には地域全体で多くの不安が見られる事が予想される。

ブラジルは、もう一つのベネズエラになるのか？

1月1日曜日、ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルバがブラジル大統領に就任する宣誓式が行われる。ルーラの台頭により、残念ながら、もう一つの南アメリカの国が犯罪に腐敗した社会主義者の手に渡るのを目の当たりにしている。その結果、ブラジルは、もう一つのベネズエラになるのか？ たくさんの素晴らしいブラジル国民のために祈りましょう。

米国およびその他の国が中国からコロナ検査を義務付ける

中国でのコロナの蔓延に伴い、米国はインド、イタリア、日本、台湾に加わり、中国、マカオ、および香港から到着するすべての旅行者に対して、出発前に[コロナウィルス検査の陰性](#)を義務付けている。再びこれが急速に、非常に醜くなる可能性に備えましょう。

【ミニストリー】

今週火曜日、1月3日に、私の新しい著書、[Bible Prophecy: The Essentials! \(聖書預言: 必須!\)](#) が発売開始されます。聖書の預言に関するすべての質問に対する優れたリソースを探しているなら、これはあなたのための一冊です。バリー・スタグナー牧師と私とで書いたこの本は、イスラエル、教会、終末に対する神のご計画に関して、すべての重要なトピックを網羅しています。今すぐご注文ください。

「主がシオンの繁栄を元どおりにされたとき、私たちは夢を見ている者のようであった。」

(詩篇 126:1)

神は夢を使って、時には語りかけ、時には警告し、時に励まされます。しかし、まるで夢を見ている者のように、自分が驚くべき出来事を目撃している事が信じられない時があります。太平洋時間の金

曜午後 12 時に公開される、私のメッセージ「[“Like Those Who Dream”](#)」 [「夢見る者のよう](#)

に」(日本語字幕)では、この節を通してイスラエルの土地への帰還の奇跡的な性質を示します。故国に移住するユダヤ人の数は年々増え続けており、預言は私たちの目の前で成就しています。それはまた、異邦人の時が終わり、救世主が彼の教会を迎えに来られる時が刻々と近づいていることを思い出させます。

先週、元ロシア大統領兼首相のドミトリー メドベージェフが、2023年の予測のリストを発表しました。米国での内戦、およびテキサス州の離脱とメキシコとの同盟国形成。これはメドベージェフの大人のクリスマス リストかもしれません。私は彼ほど悲観的ではありませんが、来年の予定については楽観的ではありません。この1年間、地球はさまざまな困難に見舞われてきましたが、2023年はさらに悪化すると私は信じています。

一部のクリスチャンにとって、これが理解しにくいことは承知しています。多くの人が悪い神学にだまされており、教会によって義の黄金時代が到来するのを待っていますが、それはありません。義の黄金時代は来るでしょうが、それはクリスチャンによって確立されるのではなく、7年間の恐ろしい大患難の後で教会と共に戻って来られるキリストご自身によって確立されます。私は聖書を通して神のご計画を知っているので、世界に対しては悲観的になることはありますが、同時に、イエスを自身の救い主であり主として受け入れた人々に対しては、楽観的になることができます。地球は、世の文化と同様に劣化し続けます。しかし、私たちの救世主であるイエスが雲の中に来て、ご自分の教会をご自身に受け入れてくださる日が間もなく来ます。主よ、私たちが救い主と顔を合わせてお会いする日を早めてください！

皆様の絶え間ないお祈りと、惜しみないご支援に満ちた素晴らしい年に改めて感謝します。皆様に支えられ、ビホールド・イスラエルは世界中で多くのことを成し遂げることができました。皆様の祝福に感謝します。

主の来臨を待ち望む。

Amir Tsarfati

ビホールド イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールドイスラエル All Rights Reserved.